

# 結いだより



## 鎌倉投信

2010年8月4日発行  
第5号



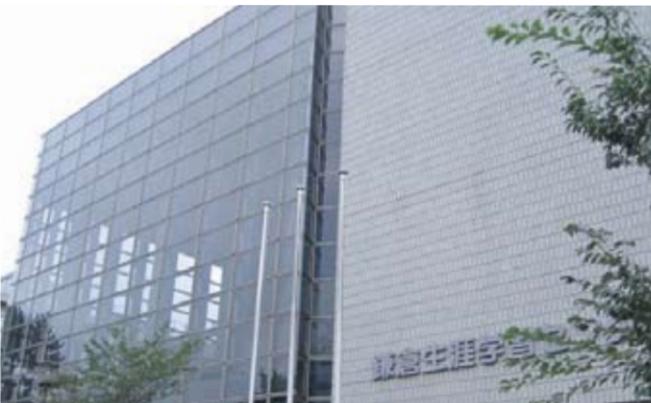
坂本 光司 先生



高野 登 さん



瀧川 克弘 さん



### 次世代につなぐ 豊かな社会を 投資信託で創る 「投資家と投資先企業を 結ぶ」「これからの日本を 創造するいい会社」



池内 計司 さん



竹本 吉輝 さん



鈴木 慶太 さん



岩崎 聖侍 さん



竹川 美奈子 さん

2010年7月24日開催

### 第一回

## 「結い 2101 受益者総会」 特集号



第1回受益者総会は、鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉)にて開催。夏の真っ盛り、暑い日の土曜日にもかかわらずたくさんの方にお集りいただきました。みなさん、ほんとうにありがとうございました！／写真右は、書家の伊藤義之さんによって書いていただいた横断幕。写真左は、鎌倉生涯学習センターと、壇上で講演いただいた皆さまです。

約8時間におよぶ総会になりましたが、力のこもった講演やパネルディスカッション、自由闊達な質疑応答で会場が熱気に包まれ、お集まりいただいた殆どの方々に最後までご清聴いただきました。みなさん、ほんとうにありがとうございました。

#### ●開催概要

〔第一部〕「結い2101」決算報告および運用状況の報告

運用責任者の新井より3月29日設定来の、「結い2101」の運用状況を詳しく説明しました。新井らしい実直な語り口で、鎌倉投信の投資哲学や運用方針に沿って、図やグラフを用いながら、できる限りわかりやすくお伝えしました。

#### 〔第一部〕投資家と投資先企業を結ぶ「場」

坂本光司先生による基調講演とパネルディスカッション

出演者の魅力と本音が存分に引き出され、活気と笑いに満ちた第二部となりました。運用者としての投資先企業を見る視点、受益者の期待や問題意識、経営の理念を見失うことなく価値を創造し続ける投資先企業の実像を感じることができました。受益者、投資先企業、運用者相互で顔の見える関係、信頼に根差した投資の形が実現できたと思います。

〔第三部〕これからの日本を創造する、いい会社を紹介する「場」

#### 高野登さんの基調講演とパネルディスカッション

これからの日本を創造するための原資とは紛れもなく「人」、それは「人財」であることを確信できた第三部でした。世の中に山積する問題を丁寧に紐解いて解決策を探るアイデア力と、力強い実行力を兼ね備えた出演者のみなさん。その話に大いに刺激を受けた受益者の方々からの情感と熱のこもった質問に対しても、真摯に受け答えをする出演者に、自然と涙が溢れた受益者の方もいらっしゃるほど、会場内は感動で満ち溢れていました。

### 投資家、投資先企業、運用会社で共創する これからの社会とは？

### これからの企業像とは？

「投資信託にたまされるな」

竹川 美奈子 さん

パネルディスカッションの中で「結い2101」の銘柄選定プロセスをしっかりと聞き出すあたりはさすがに金融ジャーナリスト。日本のいい会社を応援したいという想いは、インデックス投資派の竹川さんも同じ。「投資業界は20年以上も変わっていない」との竹川さんの指摘に、鎌倉投信は真正面から挑戦します。

「世界に笑顔を増やす」

岩崎 聖侍 さん

裁判所勤務から転身し、企業のストーリー作りをHP製作等でプロデュースする岩崎さん。未来工業の経営理念に大いに感動し、共感いただいた様子。「いい会社をふやすのは僕ら投資家の役割。パフェットのように、鎌倉投信が投資する会社の株価は上がるというブランドになって欲しい」。最高の応援メッセージを頂きました！

「社員がやる気になる会社」

瀧川 克弘 さん

決してハイテクとはいえない電材メーカーでありながら高収益企業。人財を活かす未来工業(株)の真髄は、「常に考える」企業風土と性善説に立った組織作りがありました。瀧川社長曰く「今日は感動しました。こういう投資家が増えるといい日本になる」。受益者の皆さんと会って頂いて本当に良かった！

「日本でいちばん大切にしたい会社」

坂本 光司 先生

鎌倉投信との共同研究成果や経済産業省が主催する「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」の審査基準をご披露下さいました。「いい会社を知らしめたい」という坂本先生の想いは受益者の心にも響いたようです。共に「いい会社」をふやしましょう！

## これからの日本を創造する起業家たちの信念

### 「自閉症の長所に注目」

鈴木 慶太 さん

(ルールへのこだわりなど)自閉症の弱みを、逆に強みとして活かせるような(システムテストなどの)業務を提供することによって、解決していこうとしています。2009年、米国での社会起業家コンテスト大会で優勝したビジネスモデルを日本で実現するベンチャー。これからが楽しみです。

### 「財務会計・金融の知見を加味した環境ビジネス」

竹本 吉輝 さん

「日本の森は、いま一番お金がかかる時。ここでひと踏ん張りすれば資産になるのに、このままではいけない」今、日本の森に必要なことや問題点を分かりやすく解説して頂きました。これから始まる「わりばし プロジェクト」。全ての間伐材を有効利用して、土に還るまでの循環型スキームに期待しています。

### 「風で織るタオル」

池内 計司 さん

斜陽産業と言われるタオル業界のなかで、(株)池内タオルは独自ブランド「風で織るタオル」を持ち、ヨーロッパ基準のオーガニックタオルは海外での評価も高く、価格競争にならないタオルが生まれたお話を頂きました。池内さんの口癖は、「でも最もエコなのは、ずっと使えるタオルだよ」。この言葉が、一番信じられます。

## なぜ、今「人」なのか？

### 「サーブिसを超える瞬間」

高野 登 さん

「夢を語れなくなってきた『人』が多くなくなってしまった日本。ちょっとしたことから変わっていくために、目の前にある景色を、自分で変えていく努力を」という言葉が印象的でした。また、講演が終わった後のサイン会では長蛇の列。人気の凄さがうかがえた光景でした。



運用報告をする新井資産運用部長。

●ご参加頂けなかったみなさまへ  
遠方にてご参加頂けなかった受益者のみなさま、日程が合わずご参加頂けなかった受益者のみなさまには大変申し訳なく存じます。その場の雰囲気を感じて頂けるよう、当日の資料ならびに映像をご覧いただく作業を進めていますので、もう暫く、お待ちいただければ幸いです。

●これからの決意  
鎌倉投信の志は3つの「わ」を育む「場」を創ることです。和…日本の普遍的な価値を感じることが出来る「場」、話…会話や言葉に溢れ、夢や希望を分かち合う「場」、輪…人が集い、夢が集い、「そしてその輪が広がる「場」。その二つの形が、受益者、投資先企業、運用会社である鎌倉投信が一堂に会する受益者総会です。

参加された受益者の方から次のような感想を頂きました。

「結い 2101では投資の果実⇨資産形成⇨社会形成  
×心の形成と表現しているのですが、昨日の受益者総会は心の形成でのリターンが凄かった」

「自分が如何に何も知らないのか」を沢山教えていただきました」

顔の見えるお金の循環、信頼に根差した投資には、単に金銭的価値だけではない良さが多々あることを実感しました。開催して本当に良かったと思います。来年はより一層充実した受益者総会にしていきたいです。

## FAN-AND WITH

～一緒に楽しみながら、投資の知識を学びましょう！～

Q

投資信託「結い 2101」の純資産総額とは何ですか。

A

純資産総額とは、投資信託の資産(株式、債券、現金等)から負債を差し引いた、財産の合計です。

「結い 2101」のポートフォリオは、その時点までに購入した株式と現金等で構成されています。純資産総額とは、投資信託の資産(株式、債券、現金等)から負債を差し引いた、「結い 2101」の財産の合計です。ここから「結い 2101」のファンドとしての規模を見てとることができます。

Q

値段(基準価額)はなぜ上がったりが下がりたりするのですか

A

お客様がご購入いただいた投資信託「結い 2101」の価値である基準価額が日々変動するのは、組み入れている投資先企業の株式が市場で日々値付けされており、それをもとに基準価額が算出されるためです。

## セミナー報告

### 「障害があってもお金のことを学びたい」 ダイバストリート主催のセミナーで講演

6月13日、「誰もが個性を尊重しあえる道づくり」を志すダイバストリート株式会社主催の、お金についての勉強会で、鎌倉投信代表の鎌田が講師を務めました。この日の参加者は、これからの日本を担う20代前半のリーダーの皆さん。視覚障害や聴覚障害のある方もいらっしゃったので、投資についての考えを聞いてみると、「将来のための資産形成をしたいという気持ちはあるが、学ぶ機会も経験もないので不安だから投資をしない」という話に。ご本人も視覚障害を持つ成澤さん(主催会社の社長)の一言「障害者であってもお金のことを学びたいと思っている人は多いんです。でも、色々なバリアがあって学ぶ機会が少ないのです。」を聞き、障害者の方でも安心して資産形成ができるようにしたいと、強く実感。このセミナーをきっかけに、鎌倉投信の役割が一つ増えました。

## My Culture

### 「障害者の経済学」

当事者である著者が冷静な視点で、障害者をめぐる国の施策と、障害者とその家族について、経済(インセンティブ)の面から分析し、読みやすく語っている。

障害者を特別扱いせず、自立した人間として扱うことの重要性を一貫して説いており、障害者の現実を知るうえで、お勧めの一冊。



# 古民家物語

雪ノ下草子：第二章 夏に憶う

●夏は夜

『夏は夜 月の頃はさらなり 闇もなほ 螢の多く飛び違ひたる また ただつ二つ など ほのかにうち光りて行くも をかし 雨など降るも をかし』

古くは万葉集・枕草子の時代から、現在では宮崎駿監督の映画まで、様々な場面に登場する螢は、昔から夏の風物詩として日本人に馴染みの深いものでした。古い時代の夜は、きつと、現代では想像もつかないほど、暗闇に包まれていたことでしょう。そんな闇夜に暮らしていた人にとって、明るい光を放つ月や螢は、格別のものだったに違いありません。

●光の分類

光を発生させるには、主に2つの方法があります。1つは、「白熱」、もう一つは、「ルミネッセンス」と言うことです。「白熱」とは、熱を出した時の副産物として発生する光のことです。白熱灯などがこの分類に入ります。一方ルミネッセンスとは、エネルギーの高い励起状態から、低い基底状態に戻る際の差分のエネルギーによって発生する光のことで、最近よく耳にする有機EL(有機エレクトロニックルミネッセンス)などが、この分類ルミネッセンスに入ります。

●螢と有機EL

体の中で化学反応を起こして光っている螢も、このルミネッセンスの分類に入ります。人類が光を手に入れるには、とても長い時間がかかりました。それでもまだ、螢の光に比べると、非効率なものが多いわけです。



鎌倉投信社屋、宵の庭先。

螢が飛び交う様子を眺めながら、先端技術である有機ELと、昔から人に馴染みの深い、螢の光に共通点を見つけた夏の夜、何とも「いとをかし」。

## 見て楽しい、食べて美味しい、手毬の和菓子

# 鎌倉の和菓子

手鞠の和菓子と芹川五輪氏の器。庭の紅葉の青葉を添えて、いただきました。



- 御園井裕美子さん 創作和菓子作家。鎌倉にある「たからの庭」で、作品展やワークショップを開催。  
<http://www.temari.info/>
- たからの庭 古民家を再生したシェアアトリエ・ハウス。浄智寺の片隅にあります。“みんなの古民家”をコンセプトに、イベントやワークショップを開催。  
<http://takaranoniwa.com/>

## 鎌倉ある記

### 夕闇に 1500匹の 螢が舞う「柳原神池」



鶴岡八幡内白旗神社と若宮の間にある「柳原神池」。  
神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-1-31。

「柳原神池」では、今年も、鎌倉初夏の風物詩・螢放生祭が開催されました。夕闇の中、1500匹の螢たちが池の水を飛び交う光景は、とても幻想的だったそう。秋には、水面にもみじが映える、紅葉絶景スポットにもなります。

### 鎌倉文化について

私たちが「鎌倉の地」で創業したことには意味があります。立ち位置を明確にし、ぶれない経営、資産運用を行うためです。鎌倉投信が行う事業や運用の考え方は、短期的な利益を追求するものではありません。投資家の皆さんと共に、長くゆつくりと成長する資産形成、調和の上に持続的に発展する社会形成を目指しています。そのためには、都会のど真ん中にいるよりも、むしろ経済や金融の中心から少し離れたところから俯瞰するくらいの距離感の方が、物事の本質や潮流の変化が見えやすいのではないかと考えています。そういう視点で考えると、当社の事業も、自然や伝統文化に恵まれ、一方で鎌倉幕府や日本初のナショナルトラストを生み出したような革新的な要素のある「場」で行うのが良いのではないかと考えたわけです。それが結果として、「鎌倉の地」だったのです。

鎌倉文化というと、一般的には「吾妻鏡」で見られるような、武家の社会や文化がイメージされます。しかし、鎌倉文化は京文化と融合したとても雅で華やかな面があったことを伝えている文献もあります。確かに、北条実時が源氏物語の注釈本である「異本紫明抄」を編集するなど、鎌倉において名だたる武士たちが意外にも「源氏物語」や「京文化」に造詣を深くする一面が多く見られます。

当時の時代背景を概観すると、とても興味深いものがあります。

### 今月のShine(社員)鎌田さん



ゴミを出しに向かう鎌田さん。今日も笑顔で活き活き、楽しそうです。

鎌田さんは、いつも、笑顔です。今日もニコニコ、トイレを磨いていました。何かを「磨く」とは、感性を磨くことにつながるのかもしれない。何気ない景色でも、敏感な五感センサーを持った鎌田さんの目には、たくさん素敵なものが映っているのでしょうか。だから、鎌田さんは、いつも笑顔なのだと思いました。

- 一 武士が政治の世界で確実に力を持ち始めるに従って、貴族は、文化的な面で優位性を抛り所にし、文化の革新を起すようになった。
  - 一 一方で東国に政権を築きあげた武士も文化の面で独自性を模索する中で、公家の文筆能力が必要だった。そして、公家文化を利用することで地方武士を支配しようとした(一方で、公家文化を排除しようとする動きも強かった)。
  - 一 こうして、鎌倉時代は、公家文化を取り込みながら新しい文化が生まれるようになった。
  - 一 京都に対して、鎌倉が新しい政治の拠点になると、京都と鎌倉の間を往来する人々が増え、都と地方の交渉が盛んになり、文化の多様性と経済活動を活性化させた。
  - 一 経済面という点、貨幣(宋銭)の流通が本格化し、今の為替手形の原型となる「為替」も使われ始める。
  - 一 海水浴でおなじみの鎌倉の由比が浜は、かつて「結いの浜」とも云われ、多くの琵琶法師(今でいうストリートミュージシャン)が集まり文化を伝承し、漁業だけではなく、たくさん商船がならび、経済が活発化したことが窺える。
- このように、鎌倉時代は、弥生、平安等の大陸からの輸入文化ではなく、日本独自の文化を形成していった画期的な時代だったのです。そして、経済や金融という枠組みもこの時代から形づくられていくのです。こうしてみると、文化と経済の発展は社会の発展の両輪であること、そして、今の時代に繋がる大きな変革の源が鎌倉だったということに興奮を禁じ得ません。
- (かまた)

# 「結い2101」運用報告

鎌倉投信が定義する「投資の果実」は、「資産形成×社会形成×豊かなこころの形成」です。こころの形成については個人によって異なるため、この運用報告では、投資の果実としての「資産形成」と「社会形成」について報告していきます。

## 【資産形成】

7月の株式市場は、国内企業の好決算が相次いだものの、米国の景気後退懸念や円高を受けて、上がった、下がったの状態を繰り返しました。いい会社の業績も順調でしたが、基準価額は1万円を下回ってしまいました。

7月は、地域雇用を守る、いい会社である「亀田製菓」を加え、組み入れ会社数は12社となりました。また、株式組み入れ比率も、株式相場が下がっている時点で買うことを繰り返し、先月から約7%ほど伸びて約34%となりました。

「結い2101」は最初の決算日である2010年7月20日を迎え、先日7月24日に受益者総会を行いました。

今回は、運用開始から約4カ月と短い期間ではありましたが、このような形で今後も運用報告を行っていくというお披露目的な部分もあり、実施させて頂きました。

(参加頂けなかった方にも、当日の資料はWEBにてご覧頂けるよう手配中ですので、一度ご覧ください。2010年7月20日時点での投資している会社、投資比率も掲載しています)

## 【社会形成】

～ 障害者雇用率 ～

次号のいい会社紹介で特集する株式会社ツムラの障害者雇用率が2.8%になったと報告を受けました。

まさに、障害者雇用率を増やしている段階です。ツムラさんほどの規模の会社が障害者雇用率を上げていくとかなりのインパクトがあります。

2012年には、4%にまで引き上げていくとのこと。楽しみです。

～ 循環型社会 ～

アミタさんの子会社であり、森林事業をやられているトビムシさんが、間伐材の利用を推進するために設立される「ワリバシカンパニー株式会社」を紹介してくれます。

「ワリバシカンパニー株式会社」は、国産割箸供給とそれを回収しておがくずにし農家に提供する循環型社会創造会社だそうです。

こちらも楽しみです。

## 【運用概況(2010年7月30日現在)】

基準価額※	9,934円
純資産総額※	369,994,973円
顧客数:514人(うち「定期定額購入」を選択されている顧客数309人)	
「結い2101」組み入れ会社数:12社	
株式組み入れ比率:約34.3%	

(※用語解説)

**基準価額**: 投資信託の計算日の純資産総額を総口数で除したもので、1万口当たりの時価(評価額)で表示します。基準価額は、組み入れ有価証券等の価格の上下動によって変動します。

**純資産総額**: 投資信託の信託財産を時価で評価した資産総額から負債総額を控除した金額のことです。この純資産総額は主に、①皆様の設定解約と②組み入れ会社の株価の上下動によって変動します。

## ■ 運用コラム : 第四回 ■【キャッシュ比率が高い理由】

「結い2101」の株式組み入れ比率は現状で約34%と、ポートフォリオの多くがキャッシュになっています。そこで今回は、その理由を説明します。

### 1. 「流動性の低い銘柄への投資」

「結い2101」では未上場株式(公開会社)への投資を含め、比較的流動性の低い株式にも投資をします。その場合、買い付けにはかなりの時間がかかります。例えば、投資先のいい会社さん「アミタ」さんの場合、4月から投資を開始していますが、いまだ買い付け目標の7割程度しか達成できていません。流動性が低いため、市場で売っている量が少なく、また買おうとしてもかなり割高な値段でしか買えないという状況になっていたりします。鎌倉投信では、同時に割安分析も行っているため、「この値段では割高で買えない」という判断であれば見送る日も多くあります。また、未上場株式においては、資金調達に時期が限られていますので、既に投資の意志決定をしている先でも数ヵ月後に投資する場合があります。未上場会社の数銘柄については、投資の意志決定を既に行い、8月中の投資を目指しています。

逆に、このような流動性の低い銘柄が入っていると資金化するのが

大変になります。そこで「結い2101」では長期的には目標とする安定的なキャッシュ比率を30%(株式組み入れ比率70%)として、運営していく予定です。

### 2. 「割安分析とタイミングリスク」

ベンチマークを設定しない理由をお話した時にもふれましたが、「結い2101」では、安心していただける運用をこころがけています。割高な時点では急いで買わないことを徹底する、お客様がどの時点で投資されてもいように心配りをする。そんな手間ひまかけた投資信託にしていきたいです!

## 新井 和宏(取締役 資産運用部長)

企業年金・公的年金を中心とした、株式、為替、資産配分等、運用業務のエキスパート。日系信託銀行、外資系運用会社を経て、鎌倉投信(株)を創業。「結い2101」の運用責任者として、日本株式の調査研究・運用手法の開発を実施、プライベートでは、障害者と一緒楽しめるスキークラブ設立を夢に掲げるスキーヤー。



## <資産運用に関する注意事項>

本紙は、鎌倉投信によって作成された投資家向けの情報です。投資信託のお申し込みの際には、以下の点をご理解いただき、投資の判断は、お客様自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。

・投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護対象にはなりません。また、「結い2101」は、投資者保護基金の対象でもありません。

・投資信託は金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。

・記載の情報は、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

・記載の内容は、将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。また本資料は、弊社が信用するに足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料の使用権は、鎌倉投信に帰属します。

・「結い2101」の投資信託説明書(交付目論見書)については、鎌倉投信までお問い合わせください。

・「結い2101」のご購入の際は、契約締結前交付書面および金融商品の販売等に関する法律に基づく重要事項の説明等の重要事項説明書あらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、内容をよくお読みください。

鎌倉投信株式会社 金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長(金商)第2293号

加入協会:社団法人 投資信託協会

鎌倉投信株式会社 鎌倉倶楽部 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下四丁目5-9 TEL 050-3536-3300 (代表) FAX 050-3536-3301